

(第7号様式の2)

事業報告書

(※必要に応じて枠を広げてご記入ください。)

1 事業名	子ども、高齢者の居場所事業
2 実施期間	令和4年 8 月 ~ 令和5 年 2 月
3 事業内容	<p>①具体的な実施内容 (対象者や実施場所、何をいつ実施したかなど)</p> <p>8/19 (金) 団地内グラウンド ラジオ体操参加の子どもへお菓子を配る (15人) 8/27 (土) 集会所 ハンバーグ弁当 200食 配布 (宅食9世帯) 9/24 (土) 集会所 魚フライ弁当 200食 配布 (宅食11世帯) 10/22 (土) 集会所 ハロウィン弁当 200食 配布 (宅食15世帯) 11/26 (土) 集会所 炊き込みご飯、豚汁 200食 配布 (宅食16世帯) 12/24 (土) 集会所 クリスマス弁当 200食 配布 (宅食16世帯) 1/8 (日) 団地グラウンドこども交流広場「親子でバルーンアート」でお菓子を配る (40人) 1/28 (土) 集会所 ショウガ焼き弁当 200食 配布 (宅食16世帯) 2/25 (土) 集会所 ちらし寿司弁当 200食 配布 (宅食16世帯)</p> <p>②事業の周知方法</p> <ul style="list-style-type: none">・団地内掲示板 (6か所) 階段 (6か所) へ毎回ポスター・団地内戸別にチラシ・若狭公民館、近隣自治会、地域包括支援センターなどへお知らせ・県社協、那覇市社協の「糸」子どもの居場所ネットワーク登録
4 事業実施における数値目標 (中間報告書で示した数値)	毎回200食を作り配布
5 上記4の数値目標の達成度	95%
6 事業の成果	<p>(対象や地域、社会にどう貢献したかなど)</p> <ul style="list-style-type: none">・お隣同士やディサービス、サークルのメンバー等が誘い合ったり、挨拶や会話が増え、より交流が深まる。・給食のない日なので児童、生徒へのランチは喜ばれる (親も子も)・続けていると利用した側からボランティア側に参加する人も増えた。「私にできる事は？」と利用者から声を掛けられ、利用するだけでなく手伝いたいという意識を感じた。・外出歩行困難者のいる世帯を知ることができ、宅食して見守り活動で地域に貢献している。

